母　子　草

令和5年度活動テーマ　つなごう人の輪、守ろう地域の輪

＜発行所＞
大津市におの浜４丁目 3-26
社会福祉法人
滋賀県母子福祉のぞみ会
TEL 077-522-2951
FAX 077-521-5082
＜発行人＞坂下　ふじ子

ごあいさつ　社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会　会長　坂下　ふじ子

日ごろは、ひとり親家庭及び寡婦の福祉にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

私は、昨年８月９日に会長に就任いたしました。微力ではございますが、ひとり親家庭寡婦福祉の推進のため努力して参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちの団体は、敗戦後の混乱の中、昭和 24 年 10 月に設立されました。次代を担う子どもたちを育てていくために、「わが幸は、わが手で」をスローガンに、会員一丸となって制度創設を嘆願しました。この先人達が築いてくださったこの会を、一人でも多くの若い人たちに知ってもらい、参加を願い、寄り添った支援ができるよう活動を続けていければと強く思っております。

また、昨年は全国大会を滋賀県で開催することができましたことを関係各位の方々に心よりお礼申し上げます。3 年ぶりの開催で、直前まで開催できるか役員一同不安でしたが、遠方の方へはリモート配信で参加いただくという新しいスタイルのモデル事業になればと全国初の試みで開催させていただきました。

今回の大会を機に、大変なひとり親家庭がさらに困らないよう、地域の皆様と連携し全ての子どもたちが健やかに成長できますように、これからも母子の心の拠り所となれる活動を続けて参ります。何かお困りの時は、お気軽に「のぞみ会」にご連絡ください。

最後になりましたが、日頃より深いご理解とご高配をいただいております県市町の行政をはじめ関係機関の皆様に感謝申し上げます。

令和４年度全国母子寡婦福祉研修大会（近畿地区母子寡婦福祉研修大会）

令和４年 11 月５日（土）
全国母子寡婦福祉研修大会
（近畿地区母子寡婦福祉研修大会）
場所：ピアザ淡海　ピアザホール
参加人数：会場参加　353 名
　　リモート参加　168 名

多機能型シェアハウス
コロナ禍で実施する支援

コーディネーター　県立広島大学保健福祉学部　教授　田中聡子氏
発表者　滋賀県母子福祉のぞみ会　会長　坂下ふじ子氏
高島市母子福祉のぞみ会　会長　立岡孝子氏
大津市子ども家庭相談室　相談員　麻生いづみ氏

➢　坂下会長

・新型コロナウイルス感染症が広がり、以前から大変なひとり親家庭はさらに苦しい生活を強いられるようになりました。コロナ禍での支援として、新たにフードパントリー、テイクアウトお弁当、親子ヘアカット、多機能型シェアハウス、アウトリーチ支援など様々な支援活動を行いました。

・2021年度、中央共同募金会の赤い羽根福祉基金の助成金を受けて、母子家庭のための多機能型シェアハウスを開設しました。何も持たずに入居されても生活できるよう、家具や調理用品、子どもに必要なものなどを揃え、家事支援や保育サービスは、研修を受けた寡婦が担いました。心身ともに疲れた母子家庭の方々に安心していただけるよう、寄り添った支援を心がけ、シェアハウス利用者の自立までには、家事支援や保育サービスのほかに行政への同行支援、就業支援、養育費相談、退去時の引っ越し支援などを行いました。

・2022年度も継続事業助成を受け、孤立する母と子を包摂するための多機能型シェアハウスを拠点とした包括的支援活動を行いました。子どもが不登校やメンタルの不調を抱えていながら、専門的な支援機関やサービスにつながっていないことも多く、学習支援や精神保健福祉士によるメンタルヘルス相談も開始しました。また、他の社会資源を活用するため、他機関との連携の重要さも改めて感じました。シェアハウスとフードパントリーの二つの活動は、大変重要な事業です。

➢　立岡会長

・このシェアハウスに関しては、私たち寡婦がスタッフとして家事支援に関わっています。必要な研修を受けて登録された寡婦の方々にも、家事支援や保育サービスなどで母子を身近に支える重要な役目を担っています。お母さんたちより人生経験が豊かな中で、安心して利用いただき、また柔軟な対応をさせていただき、母子さんとの信頼関係を築けるよう努めております。中高生の子どもさんがおられる母子の方も利用できるよう、新たにもう1軒、シェアハウスを借り上げ、スタッフ皆で掃除をし、お迎えしました。

➢　麻生相談員

・シェアハウスは、お母さんが心身を休めて次に向かう力を蓄える場になっていると思います。利用者の様子をのぞみ会さんがある程度聞き取ってくださり、適切に子ども家庭相談室に引き継いでくださいました。ある世帯では、姉妹間の暴力や不登校の問題、さらには母が過去にかなりのDV被害者であったことなど多重の困難を抱えておらえることがわかり、多様な機関が連携して関わり、現在も寄り添いながら支援しています。

➢　田中教授

・のぞみ会のフードパントリーで母たちのニーズをキャッチし、多重の困難を抱えているケースには多機関連携が重要。行政や様々な所と連携していくことが大事で、みんなでチームとして応援していく必要があります。

・多くの課題を抱えた母たちの味方は、同じ気持ちを共感、共有できる当事者団体であるので、皆さんの意義はすごく大きいと思います。母たちの心の声をキャッチして、必要な機関につないで、課題を一つずつ解決していけるよう皆さんの活動を心から応援します。

研修討議　全国６地区発表

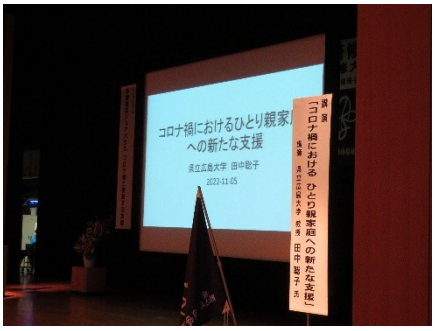
（発言要旨）

➢　近畿地区　滋賀県母子福祉のぞみ会　立岡紀子氏

・2003 年から介護施設で働きながら、2006 年本会主催のヘルパー研修 2 級講座を受講し資格を取得しました。その後、ステップアップのため、2010 年に介護福祉士の資格を取得し、介護職員として施設や在宅介護に 18 年間、高齢者や障碍者支援に関わってきました。現在は、また違う関りを学ぶため就労支援 B 型作業所で支援員として勤務しています。

・コロナ禍では、フードバンクから物資の寄付、休校のため使用できなくなった食材をいただき、早々にフードパントリーを開催しました。濃厚接触者で自宅待機となったお宅にお届けし、食料がなくて、とても不安であったと喜んでいただけました。頼ることの少ないひとり親の生活の中で、支援やサービスの使い方などの情報不足を実感。その後、高島市では母子部で LINEアカウントを登録していただき、できるだけ情報提供に努めています。

講演「コロナ禍におけるひとり親家庭への新たな支援」



県立広島大学保健福祉学部　教授　田中聡子氏

（講演要旨）

・母子家庭の母は、子どもを育てていること自体で自立していると思います。経済的自立は大事だけど、病気やメンタルヘルスだったりすると健康管理や日常生活で色々なサービスを使ってより良い生活を送ること、地域で孤立する母をつくらないようつながり合って社会の一員として暮らせるように支えることが大事だと思います。

・今はひとり親家庭というけれど、未だに女性の賃金が低いなどのジェンダーの問題があり、コロナの前からひとり親家庭のお母さんは生活が厳しい。そのうえにコロナが来て、母の収入は減り、在宅の子どもへの食費など支出は増えて、若干の貯蓄を切り崩しぎりぎりの生活という状況で、母子がゆっくり話せる余裕もありません。

・経済的支援も大事だけど、足らないところはケアとかサービス、養育支援とか子育て支援も必要です。

・今のお母さんたちのニーズは多様で、当事者団体や NPO、地域のボランティアという場が相談しやすい。相談に来られたら、生きづらさを理解しようとし、そのままを受け止めてほしい。しんどいお母さんとその子どもたちに目を向けて、当事者団体だからこそできる支援を行い公的な制度につなげてほしい。

資金収支内訳表

（自）令和４年４月１日　　（至）令和５年３月31日

社会福祉法人　滋賀県母子福祉のぞみ会

（単位：円）

勘定科目			社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	101,611,913	0	0	101,611,913	0	101,611,913
		事業収入	26,981,923	9,262,660	29,232,855	65,477,438	0	65,477,438
		経常経費寄附金収入	10,814,379	130,000	0	10,944,379	0	10,944,379
		受取利息配当金収入	47,530	5,896	8,089	62,515	0	62,515
		その他の収入	4,011,722	4,948,497	1,200,000	10,160,219	0	10,160,219
		事業活動収入計 (1)	143,457,467	14,348,053	30,440,944	188,256,464	0	188,256,464
	支出	人件費支出	86,531,852	4,501,714	11,554,606	102,588,172	0	102,588,172
		事業費支出	21,397,761	3,546,246	20,983,798	45,927,805	0	45,927,805
		事務費支出	14,476,563	328,770	0	14,805,333	0	14,805,333
		支払利息支出	0	0	2,547	2,547	0	2,547
		その他の支出	0	23,468,900	0	23,468,900	0	23,468,900
		事業活動支出計 (2)	122,406,176	31,845,630	32,540,951	186,792,757	0	186,792,757
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		21,051,291	△ 17,497,577	△ 2,100,007	1,463,707	0	1,463,707
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	14,480	0	0	14,480	0	14,480
		施設整備等収入計 (4)	14,480	0	0	14,480	0	14,480
	支出	固定資産取得支出	23,294,667	0	0	23,294,667	0	23,294,667
		施設整備等支出計 (5)	23,294,667	0	0	23,294,667	0	23,294,667
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 23,280,187	0	0	△ 23,280,187	0	△ 23,280,187
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000
		事業区分間繰入金収入	14,500,000	0	0	14,500,000	△ 14,500,000	0
		その他の活動による収入	0	31,418,000	0	31,418,000	0	31,418,000
		その他の活動収入計 (7)	14,500,000	41,418,000	0	55,918,000	△ 14,500,000	41,418,000
	支出	積立資産支出	4,500,000	0	0	4,500,000	0	4,500,000
		事業区分間繰入金支出	0	14,500,000	0	14,500,000	△ 14,500,000	0
		その他の活動による支出	0	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000
		その他の活動支出計 (8)	4,500,000	24,500,000	0	29,000,000	△ 14,500,000	14,500,000
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		10,000,000	15,918,000	0	25,918,000	0	25,918,000
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)			7,781,104	△ 579,577	△ 2,100,007	5,101,520	0	5,101,520

前期末支払資金残高 (11)	44,021,358	72,688,517	1,708,674	118,418,549	0	118,418,549
当期末支払資金残高 (10)+(11)	51,802,462	72,108,940	△ 391,333	123,520,069	0	123,520,069

事業活動内訳表　（自）令和４年４月１日　（至）令和５年３月31日

社会福祉法人　滋賀県母子福祉のぞみ会

（単位：円）

勘定科目			社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
サービス活動増減の部	収益	児童福祉事業収益	101,611,913	0	0	101,611,913	0	101,611,913
		事業収益	26,981,923	9,252,660	29,232,855	65,477,438	0	65,477,438
		経常経費寄附金収益	10,814,379	130,000	0	10,944,379	0	10,944,379
		サービス活動収益計 (1)	139,408,215	9,392,660	29,232,855	178,033,730	0	178,033,730
	費用	人件費	87,394,852	4,501,714	11,554,606	103,451,172	0	103,451,172
		事業費	21,397,751	3,545,245	20,983,798	45,927,805	0	45,927,805
		事務費	14,476,563	328,770	0	14,805,333	0	14,805,333
		減価償却費	33,527,750	143,210	0	33,670,960	0	33,670,960
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 25,466,182	△ 2,250,000	△ 0	△ 27,716,182	△ 0	△ 27,716,182
		サービス活動費用計 (2)	131,330,744	6,269,940	32,538,404	170,139,088	0	170,139,088
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)		8,077,471	3,122,720	△ 3,305,549	7,894,642	0	7,894,642
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	47,530	5,896	8,089	62,515	0	62,515
		その他のサービス活動外収益	4,011,722	0	1,200,000	5,211,722	0	5,211,722
		サービス活動外収益計 (4)	4,059,252	5,896	1,208,089	5,274,237	0	5,274,237
	費用	支払利息	0	0	2,547	2,547	0	2,547
		サービス活動外費用計 (5)	0	0	2,547	2,547	0	2,547
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)		4,059,252	5,896	1,205,542	5,271,690	0	5,271,690
経常増減差額 (7)=(3)+(6)			12,136,723	3,129,616	△ 2,100,007	13,166,332	0	13,166,332
特別増減の部	収益	固定資産売却益	14,479	0	0	14,479	0	14,479
		事業区分間繰入金収益	14,500,000	0	0	14,500,000	△ 14,500,000	0
		その他の特別収益	0	21,418,000	0	21,418,000	0	21,418,000
		特別収益計 (8)	14,514,479	21,418,000	0	35,932,479	△ 14,500,000	21,432,479
	費用	国庫補助金等特別積立金積立額	0	21,418,000	0	21,418,000	0	21,418,000
		事業区分間繰入金費用	0	14,500,000	0	14,500,000	△ 14,500,000	0
		特別費用計 (9)	0	35,918,000	0	35,918,000	△ 14,500,000	21,418,000
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)		14,514,479	△ 14,500,000	0	14,479	0	14,479
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)			26,651,202	△ 11,370,384	△ 2,100,007	13,180,811	0	13,180,811
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		171,045,170	14,257,044	1,715,725	187,018,940	0	187,018,940
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)		197,696,372	2,886,660	△ 383,281	200,199,751	0	200,199,751
	基本金取崩額 (14)		0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)		0	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000
	その他の積立金積立額 (16)		4,500,000	0	0	4,500,000	0	4,500,000
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)		193,196,372	12,886,660	△ 383,281	205,699,751	0	205,699,751

貸借対照表内訳表（自）令和４年４月１日　（至）令和５年３月31日

社会福祉法人　滋賀県母子福祉のぞみ会

（単位：円）

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
流動資産	56,385,901	72,624,280	3,010,721	132,020,902	0	132,020,902
現金預金	49,285,991	51,431,280	2,128,418	102,845,689	0	102,845,689
事業未収金	6,966,726	21,193,000	882,303	29,042,029	0	29,042,029
立替金	31,864	0	0	31,864	0	31,864
仮払金	101,320	0	0	101,320	0	101,320
固定資産	1,104,219,455	105,321,305	8,052	1,209,548,812	0	1,209,548,812
基本財産	840,423,825	0	0	840,423,825	0	840,423,825
土地	40,945,320	0	0	40,945,320	0	40,945,320
建物	799,478,505	0	0	799,478,505	0	799,478,505
その他の固定資産	263,795,630	105,321,305	8,052	369,124,987	0	369,124,987
土地	8,049,463	0	0	8,049,463	0	8,049,463
建物	11,323,796	0	0	11,323,796	0	11,323,796
構築物	3,640	0	0	3,640	0	3,640
車輌運搬具	1,601,375	0	2	1,601,377	0	1,601,377
器具及び備品	7,167,832	565,938	0	7,733,770	0	7,733,770
ソフトウエア	355,524	0	0	355,524	0	355,524
人件費積立資産	52,070,000	0	0	52,070,000	0	52,070,000
施設・整備等積立資産	160,945,000	0	0	160,945,000	0	160,945,000
退職手当等積立資産	22,240,000	0	0	22,240,000	0	22,240,000
母子福祉資金積立資産	0	20,000,000	0	20,000,000	0	20,000,000
差入保証金	0	143,000	0	143,000	0	143,000
高等職業訓練資金貸付金	0	84,612,367	0	84,612,367	0	84,612,367
出資金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
その他の固定資産	29,000	0	8,050	37,050	0	37,050
資産の部合計	1,160,605,356	177,945,585	3,018,773	1,341,569,714	0	1,341,569,714
流動負債	10,798,439	515,340	3,402,054	14,715,833	0	14,715,833
短期運営資金借入金	0	0	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000
事業未払金	4,477,645	515,340	1,402,054	6,395,039	0	6,395,039
預り金	105,794	0	0	105,794	0	105,794
賞与引当金	6,215,000	0	0	6,215,000	0	6,215,000
固定負債	0	0	0	0	0	0
負債の部合計	10,798,439	515,340	3,402,054	14,715,833	0	14,715,833
基本金	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金	721,355,545	144,543,585	0	865,899,130	0	865,899,130
その他の積立金	235,255,000	20,000,000	0	255,255,000	0	255,255,000
人件費積立金	52,070,000	0	0	52,070,000	0	52,070,000
施設・設備整備積立金	160,945,000	0	0	160,945,000	0	160,945,000
母子福祉資金積立金	0	20,000,000	0	20,000,000	0	20,000,000
退職手当等積立金	22,240,000	0	0	22,240,000	0	22,240,000
次期繰越活動増減差額	193,196,372	12,886,660	△ 383,281	205,699,751	0	205,699,751
（うち当期活動増減差額）	26,651,202	△ 11,370,384	△ 2,100,007	13,180,811	0	13,180,811
純資産の部合計	1,149,806,917	177,430,245	△ 383,281	1,326,853,881	0	1,326,853,881
負債及び純資産の部合計	1,160,605,356	177,945,585	3,018,773	1,341,569,714	0	1,341,569,714

自民党県議団へ要望活動を行いました

令和５年６月 12 日自由民主党滋賀県議会議員団に、「令和６年国・県予算編成に対する要望書」を提出し、要望活動を行いました。シェアハウス事業、ひとり親への支援相談体制の充実及び養育費等相談支援員の配置、物価高騰における食料支援事業の実施を要望しました。国は養育費受領率の目標を定めましたが、実際に受け取りをしている世帯はわずかです。子ども達が生まれた環境に左右されることなく心身共に成長できるように、県内唯一のひとり親支援団体としての使命を持ち今後も要望活動を行って参ります。

７月 15 日（土）のぞみ夏祭り　開催しました♪

新型コロナウイルスの影響も少しずつ緩和され、子どもたちも「お祭りしたい」と要望があり「のぞみ夏祭り」を開催しました。

当日は、いつもお世話になっている団体様や企業様のご支援もあり、たくさんの人で賑わいました。久しぶりに楽しい夏のイベントを楽しむことができ、子ども達も大満足の表情でした。ご協力いただきました皆様、暑い中本当にありがとうございました。

多機能型シェアハウスの実施状況（令和４年度）

- 入居状況　　入居延べ人数　62 人、延べ入居日数 513 人
- サービス提供　　家事・育児支援　53 日、食糧支援　102 回、サポーターの宿泊　13 日、保育　39 日
- 自立支援　　行政への同行　４件、養育費相談２件、弁護士相談２件
- 退所支援　　不動産屋への同行　３件、引っ越し支援 11 件、家具引き取り 16 件
- 学習支援　　45 回
- メンタルヘルス相談　13 件
- スーパービジョン（事例検討会）9/2　７人参加、3/27　５人参加
- フードパントリー実施状況（令和４年度）　利用者 2,062 世帯、5,256 人
- テイクアウト弁当配布の実施状況（令和４年度）　利用者延べ 1,964 人
- 国が定める養育費受領率の達成目標（令和５年４月 25 日付け）
  養育費の取り決めの有無にかかわらず　2031 年には受領率４０％

クラウドファンディング目標達成し、「いつでもどうぞの冷蔵庫」設置しました！

ひとり親家庭へのフードパントリー継続に向けて、昨年の 10 月に 2 か月間初めてクラウドファンディングに挑戦しました。お陰様で多くの方々からのご支援をいただき目標達成させていただきました。たくさんの方の応援をいただきまして、本当にありがとうございました。

冷蔵庫、冷凍庫、お米の保管庫や棚の設置と環境整備の工事に使用させていただきました。長かったコロナ禍もなんとか終わりが見えてきましたが、現在では食品日用品等の生活必需品の物価高による影響でまだまだ厳しい生活を強いられています。食べることは生きることにつながります。お困りでしたら「いつでもどうぞの冷蔵庫」をご活用ください。

クラウドファンディング　報告

令和４年 10 月１日～11 月 30 日

361 名　3,173,000 円

皆さまからのご支援心より感謝申し上げます。

メンタルヘルス相談

メンタルヘルス相談

赤い羽根福祉基金の助成金を今年度も採択いただき母子家庭のための多機能型シェアハウス事業を継続させていただいております。

その中の事業である精神保健福祉士による無料の「メンタルヘルス相談」があります。

ストレス、心身の不調、トラウマ、子どもの発達、子育て、不登校、引きこもりなどお悩みをお聞きいたします。

相談内容は、精神保健福祉士のみお聞きさせていただきますので原則的に他者にもらされることはありません。

相談日は、毎月第 2・4 火曜日の 14 時からと 15 時からの 2 枠です。偶数月については、第 3 土曜日の 10 時からと 11 時からも開催しております。詳しい日時は、のぞみ会ホームページのお知らせにも掲載いたします。ご希望の方は、LINE・電話等でご予約下さい。

令和５年度滋賀県母子福祉のぞみ会 新役員の紹介

【理事】

坂下ふじ子　（社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会会長兼事務局長、大津市母子福祉のぞみ会会長）

立岡　孝子　（高島市母子福祉のぞみ会会長）

池田　波子　（草津市母子福祉のぞみ会会長）

山添みゆき　（蒲生郡母子福祉のぞみ会会長）

池口　博信　（元滋賀県出納長、元滋賀県健康福祉部長）

山口　剛　（元㈳大津市社会福祉事業団事務局長）

北川　一二　（母子生活支援施設コーポのぞみ施設長）

【監事】

西川　直治　（㈶びわこビジターズビューロー専務理事）

西田　昌弘　（㈳滋賀県社会福祉協議会運営適正化委員会事務局長）

令和５年度各郡市会長の紹介

大津市　会長　坂下　ふじ子

彦根市　会長　瀧居　順子

長浜市　会長　宮川　敏江

草津市　会長　池田　波子

守山市　会長　中島　みどり

栗東市　会長　奥野　初恵

高島市　会長　立岡　孝子

東近江市　会長　山田　綾子

米原市　会長　谷田　昌子

蒲生郡　会長　山添みゆき

愛知郡犬上郡　会長　遠藤タネ

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会員

ご協力ありがとうございました。

（団体）

彦根市母子福祉のぞみ会　理事 16 名

【賛助会員募集中！】

本会はひとり親家庭・寡婦の生活の安定と子どもの健やかな成長を願い、様々な取り組みを行っている団体です。私たちの活動に賛同し、支援して下さる方々を募集しております。

１口 1000 円～

寄付金　ご協力お願いします

のぞみ会の活動にご支援ご協力をお願いいたします。いただいたご寄付は、子ども食堂・フードパントリー（食料支援）・シェアハウスの運営に使用させていただきます。

のぞみ会の活動は皆様方のご寄付で成り立っております。１世帯でも多くのお困りのひとり親家庭を助ける活動に一緒にご協力をお願いいたします。

＜資金寄付方法＞

◆１口　3,000 円～

◆振込先口座

・ゆうちょ銀行　01020-5-26813

社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会

・滋賀銀行　本店営業部　普通　701947

社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会　会長　坂下　ふじ子

＊編集後記＊

昨年度の全国大会では、滋賀県の多機能型シェアハウスやフードパントリーなどの地道な取り組みが紹介され、当事者団体ならではの支援事業であると、とても誇りに思いました。是非、継続できるよう多くの皆様の理解と協力を求めていきましょう。また、これらの事業を支えておられる坂下会長をはじめ各支部の寡婦の皆さん、事務局の皆さんの優しい寄り添う気持ちとお取り組みに、心から感謝申し上げます。